最も大切なこと

岩井キリスト教会牧師 原田帆海路

イースターとは、十字架にかかって死なれたイエス・キリストが三日目に復活したことを覚える日です。

□ 最も大切なこと【聖書：コリント人への手紙 第一１５章１～１１節】

使徒パウロは「私があなたがたに宣べ伝えた福音を、改めて知らせます」(1ｺﾘﾝﾄ15:1)と「福音」について語りました。そして、福音の内容を「最も大切なこと」として、四つにまとめて私たちに教えています(1ｺﾘﾝﾄ15:3)。

第一に「キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと」。

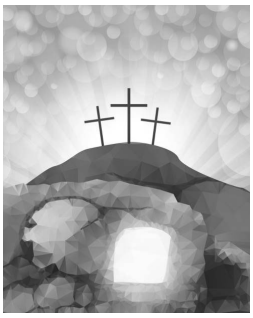
第二に「葬られたこと」。つまり、本当に死なれたということ。

第三に「聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと」。

第四に「ケファに現われ、それから十二弟子に現われたこと」。

これらを見ると「最も大切なこと」は、イエス・キリストの十字架の死と復活の出来事です。これが福音です。ここで大切なのは、イエス・キリストの十字架の死と復活が事実であったことに留まらず、イエス・キリストの十字架と復活の出来事は、他の誰でもない「私たちの罪のため」(1ｺﾘﾝﾄ15:3)であったことを教えていることです。

□ 神の恵みによって



使徒パウロは、復活のイエス・キリストと一人ひとりの出会いについて語りました。それは復活の事実を証する出会いでした。それと同時に、復活のイエス・キリストは一人ひとりに出会い、その人を全く新しくしてくださるお方であることが示されています。すなわち、イエス・キリストの復活のいのちに結び付けられた新しいいのちに生かしてくださるということです。

使徒パウロは「神の恵みによって、私は今の私になりました」(1ｺﾘﾝﾄ15:10)と告白しました。彼はかつて教会を迫害するという大きな過ちを犯した人でした。ところが「神の恵みによって」、すなわち復活のイエス・キリストとの出会いによって「変えられた」と証言しているのです。

◆ さいごに

どんな過去を背負っていようとも、どんな傷を残していようとも、どんなに拭い切れない罪を負っていようとも、イエス・キリストは「聖書に書いてあるとおりに」、私たちの罪を背負って死なれ、そして復活してくださいました。すべてはイエス・キリストの死と復活によって解決されたのです。この「最も大切なこと」である福音の故に、私たちもまたパウロと共に「神の恵みによって、私は今の私になりました」と告白することができます。神の恵みによって、新しいいのちの歩みへと導かれるのです。

この「最も大切なこと」である福音を受け入れ、復活のイエス・キリストとともに生きる新しいいのちをいただこうではありませんか。

〒306-0631 茨城県坂東市岩井３２６９番地１
TEL&Fax ０２９７（３５）１４４８
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://park21.wakwak.com/~iwaicc
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ iwaichurch1955@aa.wakwak.com